



PAN 999

PAN999は、内側が純銀で外側が鉄100%の鍋です。

純銀は強力な抗菌作用を持っています。また、純銀は熱効率に優れた金属であり、均一な熱の周りを特徴としているため、より短時間により少ないエネルギーで調理を完了することができます。いまでもなく、純銀も鉄100%も再生利用が可能です。デザイナーは建築家のトビア・スカルバ。70年の歴史を持つミラノの銀器メーカー、サン・ロレンツォ社はPAN999の生産過程についての特許を保持しています(産業発明特許N.0001413049)。PAN999は2016年のWallpaperデザイン賞ドメスティック部門トップ5点の一つに選ばれています。

San Lorenzo
Via Paul Cézanne 3
Milano 20143 - Italia
T. +39 02796438
info@sanlorenzosilver.it
pan999sanlorenzo.it



この桿の木をどうしようか、今朝花が開いたアイリスは、などということを目の端で観察したりしながら、沼の手前に置かれた木製のベンチの上で鍋を乾かすのは、すっかり日常の行為となっている。

しまいには、このオブジェを讃える気分が高揚していく。高慢さがなく、有用で、たまたま自分のところにやつてきたものではあるものの、私がこの茂みの隅で気の向くままに暮らしていくのを助けてくれている。

そして、物との関係を決して軽んじてはいけないのだ、ということを認識する。人生を限り無く深く掘り下げるための有用な機会でもあるのだということを。

おそらく、孤独は沈黙の志向のさらに向こうに自分を運んでいくということなのだろう。物を見極める力があるという確信を得た時に、また日常の光景のなかで一つの物としてそこに見える物の向こうにさらに何かを感じることができ始めた時に。

世界が始まったかの風景である。

ポートレート

冬の間、絶え間なく降り続けた雨で白っぽく変色してしまった木製のベンチの上に置かれている純銀の鍋。外側の煤でくすんだかの黒と、純銀製の内側の、活き活きとして震えるような白、満月の白からなる鍋。

素材は、語られるに至るまでには時間の経過を必要とする。抱え込まれた時間は、沈み込んでしまっていた記憶を引き出して花開かせる。

時とともに、色も成熟して古のものの持つ力強さで満たされる。素材とやがて光を放つようになる色彩の間には柔らかな友情の関係がある。この光は、揺らぐような種類のものではない。網膜を引きつけ、高らかに謳うようなそれである。

ELLE DECOR August 2016 PR